

平成21年度

海上保安庁関係
予算概算要求概要

平成20年8月

海上保安庁

目 次

平成21年度海上保安庁関係予算概算要求の概要

1. 要求の基本的考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁
2. 海上保安庁関係予算概算要求総括表・・・・・・・・・・・・・・ 1

重要事項

1. 巡視船艇・航空機等の緊急整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 巡視船艇・航空機運航経費の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. AIS を活用した海上交通センター機能の強化等(新交通ビジョン)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 治安、救難・防災体制の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5. 海洋調査の推進及び海洋情報の一元化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6. 巡視艇の複数クルー制拡充による海上保安体制の強化・・・・・・ 8

1. 要求の基本的考え方

平成21年度概算要求に当たっては、「海洋基本計画」（平成20年3月18日閣議決定）及び「経済財政改革の基本方針2008」（平成20年6月27日閣議決定）を踏まえ、海上における安全・安心の実現に向けた海上保安体制の充実強化を図る。

特に、老朽・旧式化した巡視船艇・航空機の緊急かつ計画的な代替整備等を進めるとともに、原油高騰の下、必要な運航経費の確保に努める。また、「空き巡視艇ゼロ」を目指した複数クルー制の拡充を図る。

さらに、「新交通ビジョン～海上交通の安全確保に向けた新たな展開～」（平成20年6月25日交通政策審議会答申）に基づき、海上交通センター機能の強化等を図る。

2. 海上保安庁関係予算概算要求総括表

(単位：百万円)

事 項	20年度 予算額	21年度 要求額	対前年度 比較増減	対前年度 比
海上保安庁	185,754	196,579	10,824	1.06
重要事項				
巡視船艇・航空機等の緊急整備	39,458	40,329	871	1.02
巡視船艇・航空機運航経費の確保	26,386	32,297	5,911	1.22
AISを活用した海上交通センター機能の強化等 (新交通ビジョン)	5,278	6,128	850	1.16
治安、救難・防災体制の確保	1,311	1,728	417	1.32
海洋調査の推進及び海洋情報の一元化	1,121	1,239	119	1.11

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっている。

重要事項

1. 巡視船艇・航空機等の緊急整備

40,329 (39,458) 百万円

(1) 巡視船艇の整備

26隻〔うち継続17隻〕

老朽・旧式化した巡視船艇を代替し、併せて必要な高速化、操縦性能向上等高性能化を図る。

(2) 航空機の整備

8機〔うち継続5機〕

老朽・旧式化した航空機を代替し、併せて必要な航続性能・搜索監視能力向上等高性能化を図る。

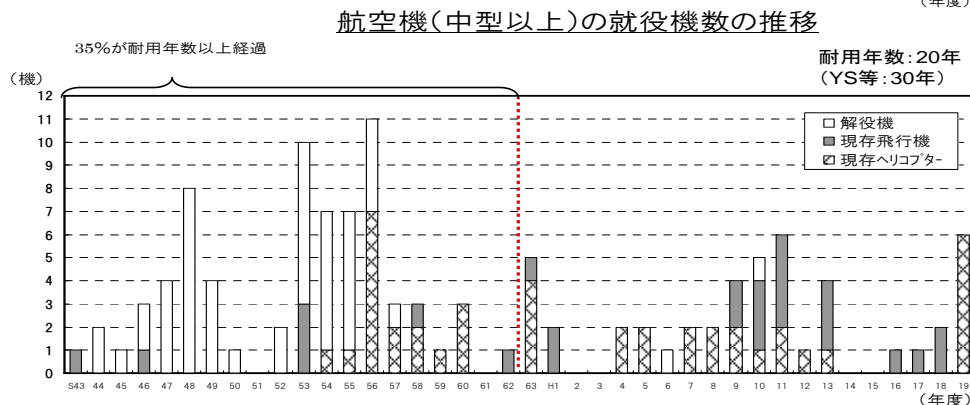
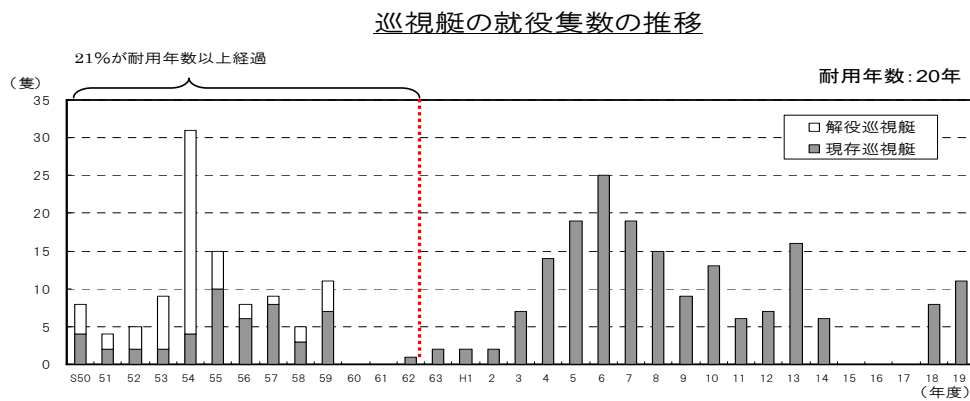
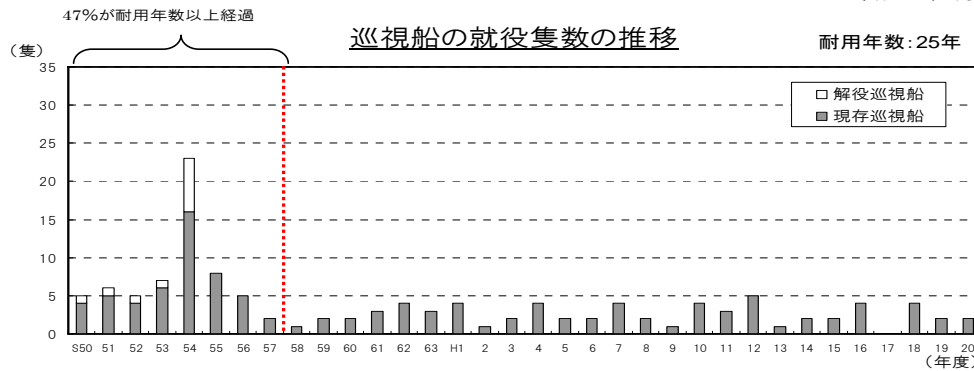
(3) 船艇・航空機基地施設の整備

船艇・航空機の運用に必要な基地施設を整備する。

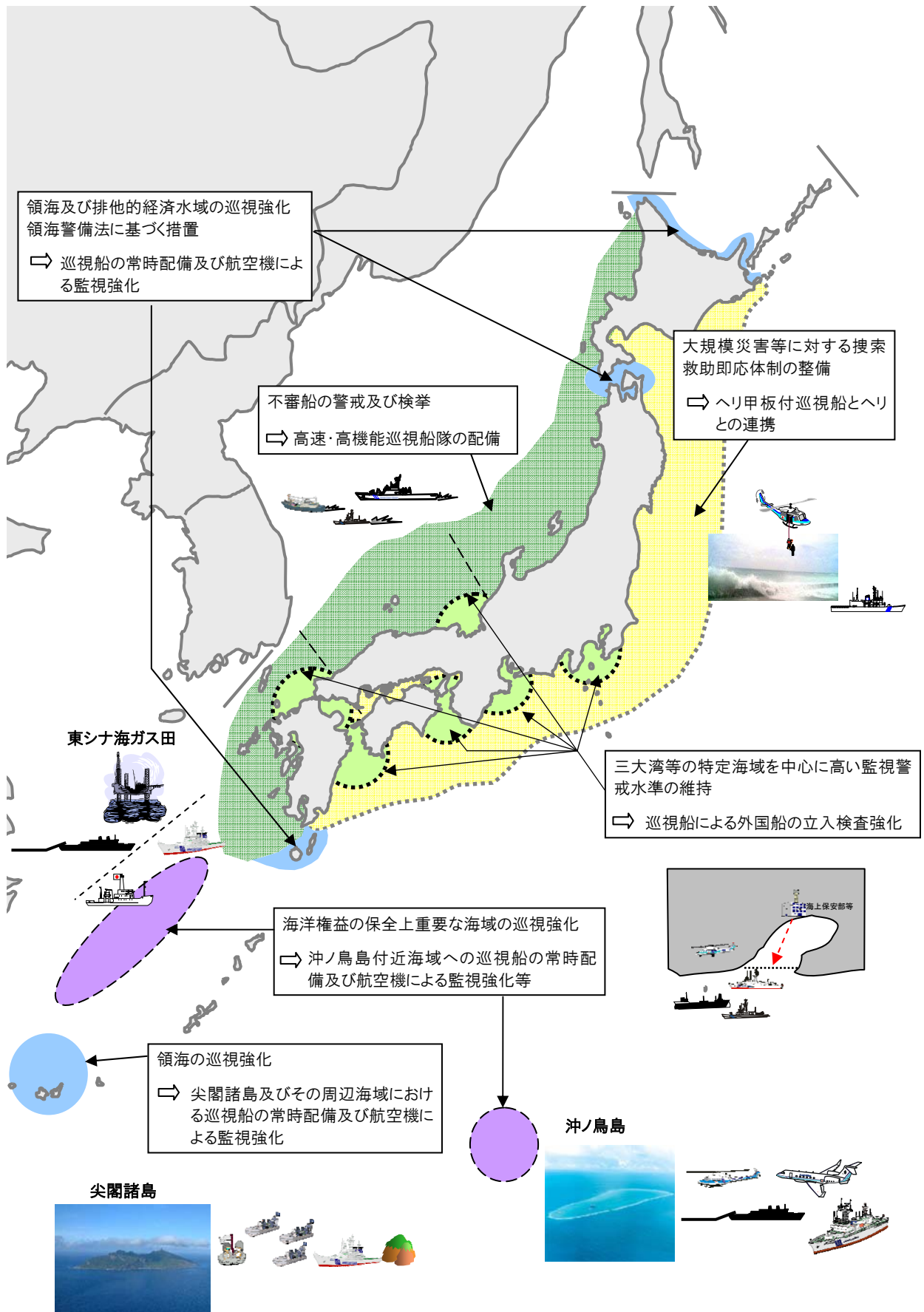
(4) 情報通信システムの整備

船艇・航空機の運用に必要な運用司令装置を更新する。

平成20年8月1日現在



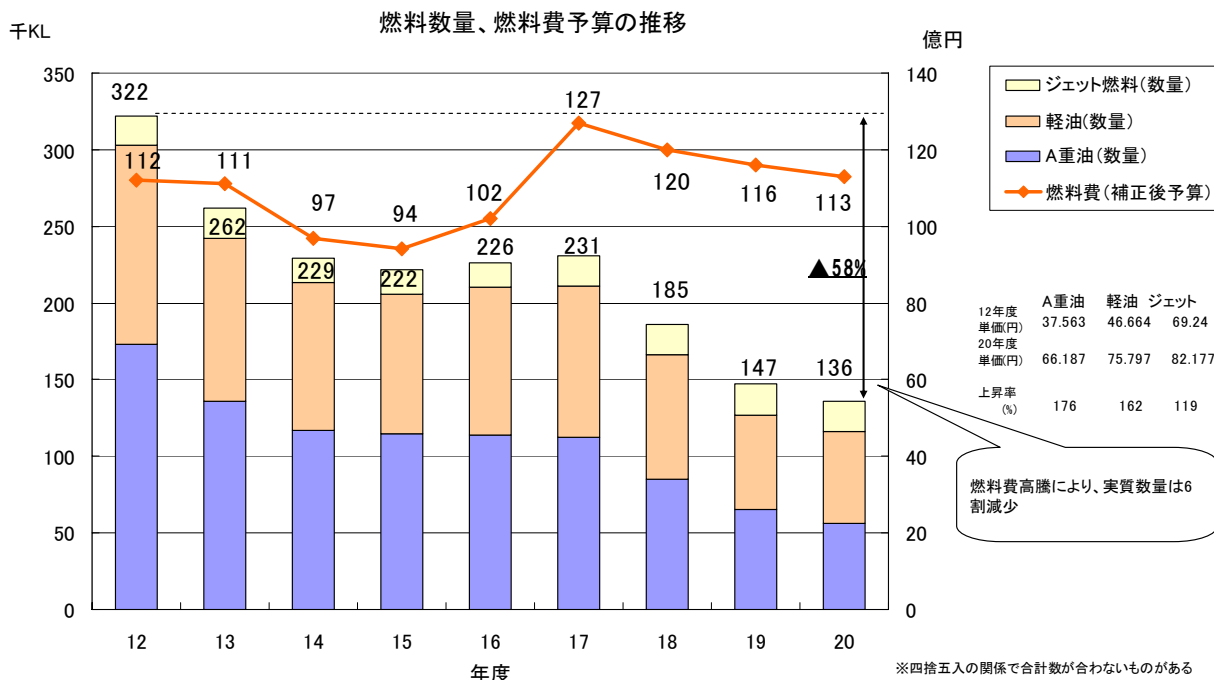
【新たな業務課題に的確に対応できる業務執行体制の確保】



2. 巡視船艇・航空機運航経費の確保

32,297(26,386)百万円

原油高騰の下、しょう戒及び救助等に必要な巡視船艇・航空機の運航に必要な燃料等を確保する。



○海上保安庁における原油価格高騰に伴う主な緊急対策(平成20年7月25日指示)

(1) 経済的運航の更なる徹底

低速運航等の従来から実施している経済的運航を更に徹底

(2) 訓練・研修の縮減等

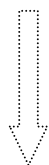
一部の訓練・研修を中止又は実施回数を削減するとともに、実施する場合においても参加船艇等の縮小や運航を伴わない訓練に変更

(3) 体験航海の見直し

巡視船等による体験航海の中止、規模縮小等を実施

燃料高騰による巡視船艇・航空機の行動に必要な燃料費の不足見込み

単価アップ



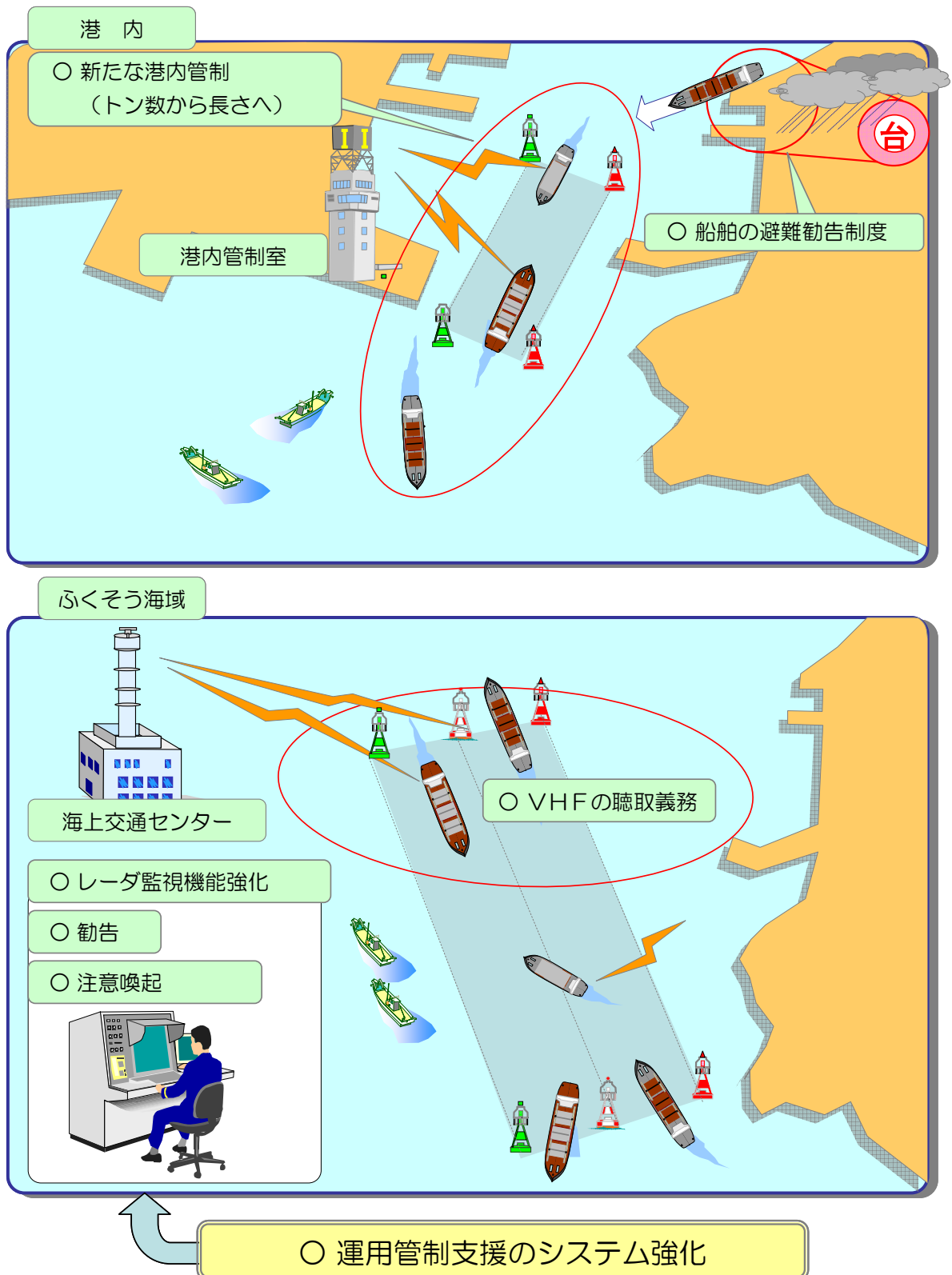
	20年度予算単価	20年6月実績単価 (21年度予算要求単価)
A重油	66,187 円/KL	⇒ 102,000 円/KL (154%UP)
軽油	75,797 円/KL	⇒ 108,773 円/KL (144%UP)
ジェット燃料	82,177 円/KL	⇒ 91,180 円/KL (111%UP)

21年度単価改定に伴う増額 約46億円

3. AISを活用した海上交通センター機能の強化等(新交通ビジョン)

6, 128 (5, 278) 百万円

AIS（船名、速力等の情報を自動的に送受信する装置）の整備の進捗、本年3月に明石海峡で発生した多重衝突海難等を踏まえ、AIS等の新たな情報技術を活用した航行管制・情報提供システムを充実強化するとともに、新たな交通ルールを設定する等により、ふくそう海域における海難事故の減少を目指す。



4. 治安、救難・防災体制の確保

(1) 海上犯罪の予防・取締りの強化

1, 324 (1, 019) 百万円

- ・ 銃器等の密輸入をはじめとする各種海上犯罪や海上テロへの対応に必要な装備の整備等



(2) 海難救助・海上防災体制の強化

404 (291) 百万円

- ・ 海難救助体制の強化に必要な機動救難士装備等の整備
- ・ 海洋汚染物質排出事故への対応に必要な有害危険物質（HNS）に係る防除資器材の整備

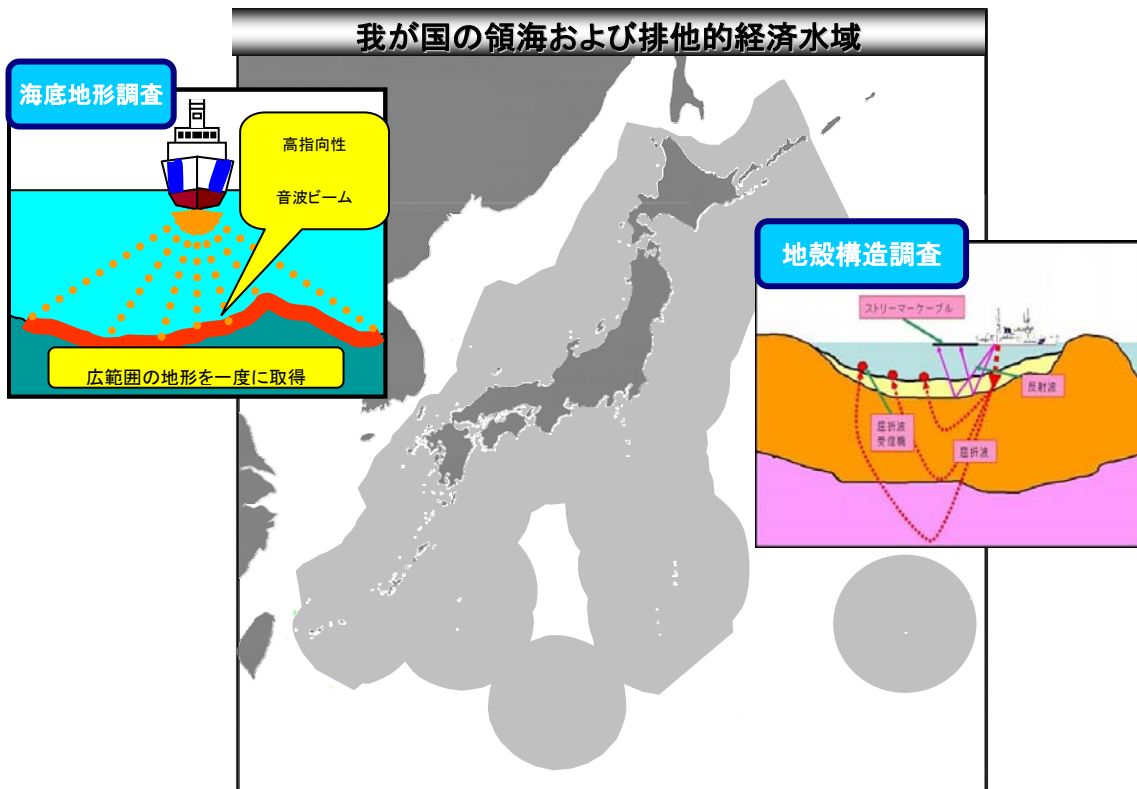


5. 海洋調査の推進及び海洋情報の一元化

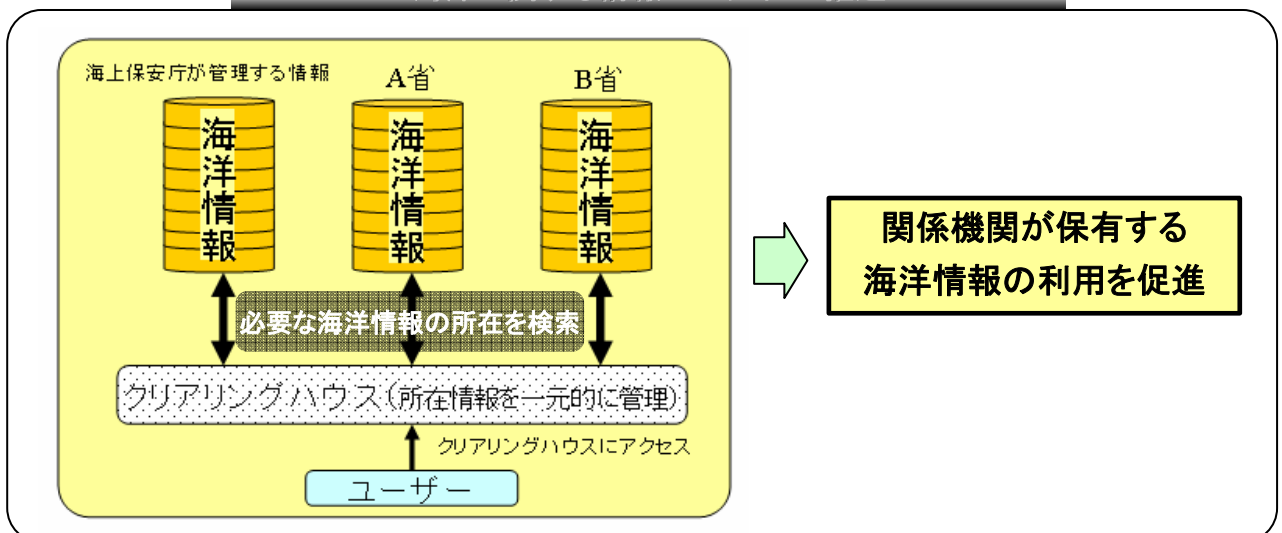
我が国領海及び排他的経済水域における海洋調査の推進

1, 239 (1, 121) 百万円

我が国の領海及び排他的経済水域における海洋権益を保全するため、データの不足している海域について、海底地形、地殻構造等の調査等を実施するとともに、海洋に関する情報の一元化を推進する。



海洋に関する情報の一元化の推進



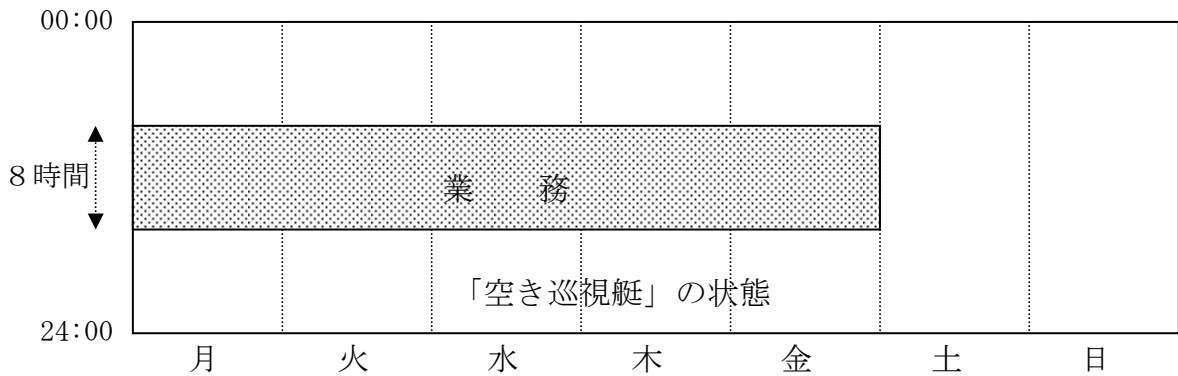
6. 巡視艇の複数クルー制拡充による海上保安体制の強化

～「空き巡視艇ゼロ」を目指して～

170人〔171人〕

沿岸部や港内の事件・事故に対応する勢力である巡視艇について、複数クルー制を拡充することにより乗組員の休日や夜間等乗組員不在時（「空き巡視艇」の状態）の初動遅延を解消するとともに、容疑船の継続的動静監視、密漁の取締り等治安向上のための海上保安体制を強化する。

巡視艇（1クルー）の1週間の現状（CL型の場合）



巡視艇の複数クルー化の概念図（CL型の場合）

